

FUJI OIL GROUP 2011



第83期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

60th
Anniversary

特集 1 質の国内、量の海外

特集 2 創業60年の歩み

二つとない、をつくる。

 **不二製油**

二つとない、をつくる。不二製油

『二つとない、をつくる。』それは、社名の「不二」から生まれた言葉。

私たち不二製油が、創業60周年にしてはじめて掲げるコーポレートメッセージです。油脂、製菓・製パン素材、大豆たん白の事業領域において、私たちはつねに「人マネをしない」という創業の精神を大切に、お客様と共に製品開発に挑んできました。

二つとない技術・経験・発想の先に、二つとない製品や提案が生まれ、さらにその先に、お客様との感動、笑顔、喜びが広がっていく。

そんな不二製油のあり方を凝縮したのが、『二つとない、をつくる。』というメッセージ。

これまで60年にわたって築いてきた技術と製品に対する自負。そして、これから先も、二つとない製品を通じて、皆さまのお役に立っていきたい、という決意。

二つの思いを、この言葉にこめました。それは、社員ひとりひとりの志をあらわすと同時に、不二製油が企業として社会と交わす約束の言葉でもあるのです。

FUJI WAY

□ 企業理念

「食」の創造を通して、健康で豊かな生活に貢献します。

□ 経営理念

経営の前提

安全・品質・環境を最優先する

経営基本方針

顧客への貢献を果し不断の発展を図る
創造の精神をもって常に革新に挑む
自己啓発を熾んにし人格の向上を目指す

□ コーポレートメッセージ

二つとない、をつくる。不二製油

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社グループへ格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成22年10月9日創業60周年を迎えました。株主様、お客様、お取引先様の皆様はじめ、関係するすべての方々の温かいご支援に深く感謝申し上げます。

当社は不二蚕糸(株)大阪工場でのサナギ油搾油の4年間の前史を経て、昭和25年秋に誕生しました。既に大手の製油会社がひしめく製油業界で、先達の「南方にコブラがある。ヤシ油を目指せ」という助言を得て、南方系の固形油脂に取り組みました。それ以来、「人マネをしない」という創業の精神により、溶剤分別やたん白分画、乳化、酵素技術などの独自の技術で、時代にあった様々な機能を持つ製品群を生み出してまいりました。

また、日本の食品企業では比較的早くから海外に進出し、今では海外8カ国に17社の拠点を有し、世界80カ国以上に販売しております。

さらに、企業価値は経済的側面だけでなく、社会から信頼される「良き企業市民」として、CSR（企業の社会的責任）経営を推進することが重要と認識し、積極的に取り組んでまいります。創業60周年にして当社が初めて掲げたコーポレートメッセージ「二つとない、をつくる。不二製油」は、その思いをステークホルダー

の皆様と広く共有するために生まれたメッセージです。

当社は、創業60周年を機にあらためて創業の精神に立ち返り、企業価値の向上に努めてまいります。

業績面では、当中間期は前年同期比増収増益となりましたが、国内のデフレ経済の進行や原材料価格の上昇など、厳しい事業環境が継続するものと思われます。中期経営計画の確実な実行により、グローバル経営の推進を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
海老原 善隆



国内事業戦略

世界で最も効率的でスピードある ビジネスモデルの構築へ

不二製油の事業戦略である「質の国内」とは、コア事業の技術開発力と顧客コミュニケーション力を強化し、市場の創出と活性化により収益性の維持・向上を図るものです。

特に注力すべき分野を健康・栄養市場、環境対応市場と考え、新製品開発に取り組んでいます。

また、当社グループの海外ネットワークを活かしたサプライチェーンの強化により、原料、製品調達、物流におけるコスト競争力の向上を目指しています。さらに販売の効率化や小売事業の構造改革など継続してコストダウンに取り組み、事業の収益性の改善に努めてまいります。

国内は、グローバル経営を目指す当社グループの技術、品質、情報、人材、資金などのリソースセンターとして、これまでの事業モデルを世界で最も効率的でスピードあるビジネスモデルへと進化させてまいります。さらに、「顧客密着型の技術開発力」を強化・推進することで、質（収益性）の向上を目指してまいります。

新製品



◀ **クックパル・タフロン**
酸化の上昇を抑制したタフで長持ちするフライ油です。長持ちすることで廃油量を削減でき、コスト削減やフライ食品やフライ油の劣化臭抑制、食感改良、フライ作業場の作業環境改善に効果を発揮します。

ソイクレマホイップ ▶

ソイクレマシリーズは新クリア製法のスッキリとした味わいの豆乳と風味の良い大豆粉を使用して作った大豆の美しさを発信する豆乳素材の製品群です。ソイクレマホイップは、原材料に乳製品を使用していない純植物性のホイップクリームです。



海外事業戦略

世界の伸びる市場に グループ力を集中する

不二製油の事業戦略である「量の海外」とは、成長セクターとして海外、特に中国・アジア市場を最重点市場と位置づけ、経営資源を積極的に投入し、量（売上高）の拡大を図るものです。

当社グループはサプライチェーン、バリューチェーンの最適化を目指し、川上事業分野でのアライアンスや生産拠点の最適化、物流コストの削減に取り組み、競争力の強化を図ってまいります。

また、事業の垂直展開、水平展開による量の拡大を積極的に進め、タイやインドネシアでの新拠点展開や中国での製菓・製パン素材事業の拡大、大豆機能剤の拡販などを行ってまいります。

そのためにも、国内のビジネスモデルを「移植」し、顧客密着型の技術開発力と提案営業力・マーケティング力を海外で強化することで、事業のスピード化を図り、量（売上高）の拡大につなげてまいります。



▲ フジオイル（タイランド）完成予想図

□ タイ新会社の概要

会 社 名	フジ オイル（タイランド） FUJI OIL (THAILAND) CO.,LTD.
所 在 地	タイ王国 ラヨーン（Rayong）県、 アマタシティ（Amata City）工業団地
主 業 事業内容	油脂、および製菓・製パン素材の製造、販売
資 本 金	730百万THB（約20億円）
操 業	2011年2月（予定）
工場敷地	約35,000m ²
人 員	日本人：4名 ローカルスタッフ：63名 計67名

□ インドネシア新合弁会社の概要

会 社 名	PT MUSIM MAS-FUJI
所 在 地	インドネシア共和国バカシ（Bekasi）市
設 立	2010年8月
主 業 事業内容	マーガリン、ショートニングおよび 加工油脂の製造、販売
資 本 金	IDR 100,000百万（約10億円）
操業開始	2012年1月（予定）
人 員	約40名（予定）

2010年 創業60周年 さらに飛躍へ、これからも不二製油グループは歩み続けます。

経営史

1950年(昭和25年) 10月

不二蚕糸大阪工場が、資本金300万円で不二製油株式会社として独立、新発足。

1960年(昭和35年) 10月

「経営基本方針」制定。



創業当時の不二製油

1961年(昭和36年) 10月

株式を大阪証券取引所市場第2部に上場。

1969年(昭和44年) 4月

阪南工場、第1期工事完了、操業。

1978年(昭和53年) 10月

東京証券取引所市場第1部に上場。

1981年(昭和56年) 10月

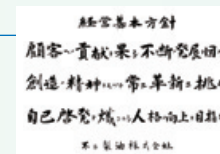
シンガポールに FUJI OIL (SINGAPORE) PTE.LTD.を設立。(2010年3月末現在海外連結子会社 15社)

1982年(昭和57年)

新「経営基本方針」を決定。

1990年(平成2年) 4月

つくば研究開発センター本格稼働。



1999年(平成11年) 2月

本社機能が心斎橋からセンタービル(阪南工場)へ移転。



センタービル

2006年(平成18年)

企業理念策定。

2010年(平成22年) 10月

コーポレートメッセージ「二つとない、をつくる。不二製油」策定。

昭和20年代

平成以降

技術・生産史

1951年(昭和26年) 2月

圧搾工場を新設。日本初の圧抽方式によるコブラ搾油に成功。

1954年(昭和29年) 1月

日本初の本格的パーム核油搾油を開始。



抽出装置

1955年(昭和30年) 8月

神戸工場を買収し操業を開始。1960年9月、連続抽出装置を完成、稼働。



神戸工場

1977年(昭和52年) 11月

「フジサニープラザ」(東京)オープン。

1980年(昭和55年)

酵素エステル交換技術を完成。



フジサニープラザ

1994年(平成6年) 9月

関東工場クリーム工場竣工。

2006年(平成18年) 5月

千葉工場を建設し、操業を開始。



関東工場

製品史

1955年(昭和30年) 9月

大阪工場に油脂溶剤分別装置を完成し、日本初のハードバター(商品名メラノバター)の製造を開始。

1963年(昭和38年) 2月

洋生チョコレート「チョコファンシー」を発売。



メラノバター

1967年(昭和42年) 12月

大阪工場で分離大豆たん白の生産開始。製品名「フジプロ」。

1968年(昭和43年) 2月

世界初、高油分クリームに直接加熱殺菌に成功、ロングライフクリーム「トッピング」発売。



フジプロ



1969年(昭和44年) 12月

マーガリン事業に参入、「エリーゼV」新発売。

1975年(昭和50年) 8月

即席麺用「油揚げ」発売。

クリーム類



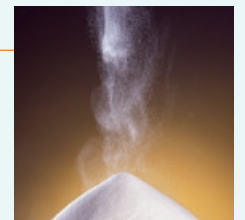
エリーゼV



油揚げ

1993年(平成5年)

水溶性大豆多糖類生産技術を完成。「ソヤファイブS」本格発売。



ソヤファイブS

平成23年3月期連結「上期業績」と「通期見通し」

連結決算 上期業績

（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

当社グループを取り巻く食品業界では、消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、また、猛暑が続いたことが消費動向に大きく影響を及ぼしました。この様な状況の中、当社グループは中期経営計画「革進・実行 2010」を継続して着実に実行し、「技術経営」の推進、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。また、重点課題である「海外事業の拡大」と「大豆たん白事業の再生」に積極的に取り組みました。

油脂事業

国内では、猛暑の影響もあり、冷菓用油脂が大きく伸びましたが、チョコレート用油脂、業務用油脂は苦戦し、売上高はほぼ横ばいとなりました。利益面では原料価格の上昇により減益となりました。
海外では、チョコレート用油脂の販売がアジア・欧米市場で大きく伸び、また育児粉乳用のスペシャリティ製品が、アジア市場で引き続き堅調に推移し、増収・増益となりました。

製菓・製パン
素材事業

国内では、業務用チョコレートが好調に推移し、特にアイスコーティングチョコ、カラーチョコが大きく販売を伸ばしました。
クリーム類、マーガリン・ショートニング類、フィリング類については、猛暑の影響はありましたが、ほぼ前年並みの売上高となりました。
海外では、東南アジア市場で、業務用チョコレート、クリーム類、マーガリン・ショートニング類が好調に推移し、増収となりました。

大豆たん白
事業

大豆たん白素材は、冷凍食品・惣菜向けが堅調に推移したものの、健康食品向けが落ち込み減収となりました。
大豆たん白食品は、即席麺用が好調に推移しましたが、猛暑の影響もあり、業務用が落ち込み減収となりました。
大豆たん白機能剤は、猛暑の影響で調理麺や飲料向けが好調に推移し、増収となりました。
豆乳・通販は豆乳飲料の販売が好調に推移し、売上高は伸びたものの、赤字解消には至りませんでした。

(単位:億円)

平成23年3月期 上期 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)				平成23年3月期 通期 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)		
	平成23年3月期 上期業績	ご参考		平成23年3月期 通期見通し	ご参考	
		対前年同期 平成21年4月 1日～ 平成21年9月30日	対前年同期 増減率		対前期 平成21年4月 1日～ 平成22年3月31日	対前期増減率
売上高	1,076	+52	+5.2%	2,236	+103	+4.9%
営業利益	82	+3	+4.8%	162	△17	△9.8%
経常利益	80	+6	+8.1%	156	△17	△10.2%
純利益	48	+0	+1.4%	100	△7	△6.8%

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

平成23年3月期 下期の重点取り組み

「質の国内・量の海外」の積極的な展開

☐ コア事業の継続的強化でシェアの維持拡大

☐ 大豆たん白事業「再生プラン」の完遂

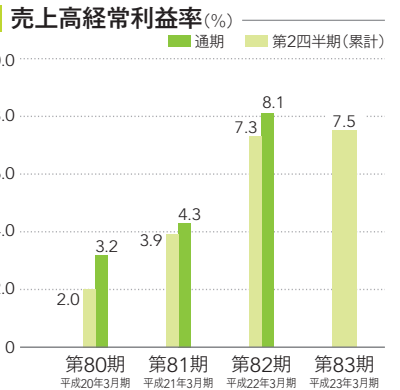
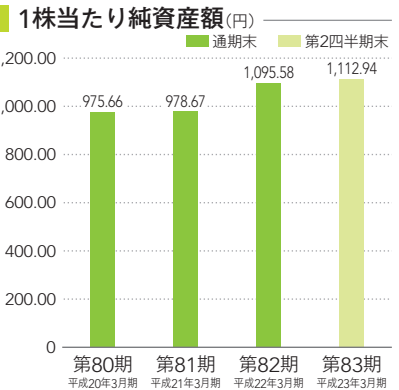
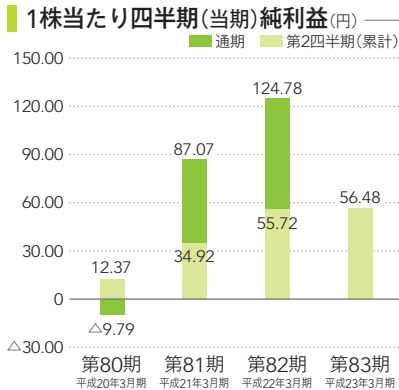
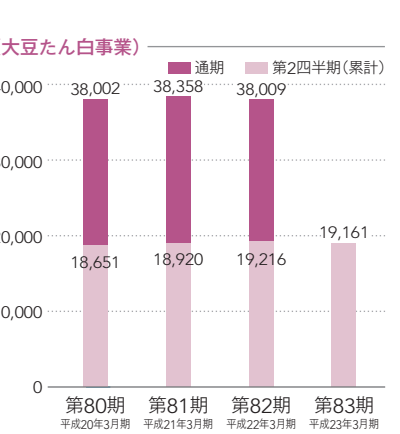
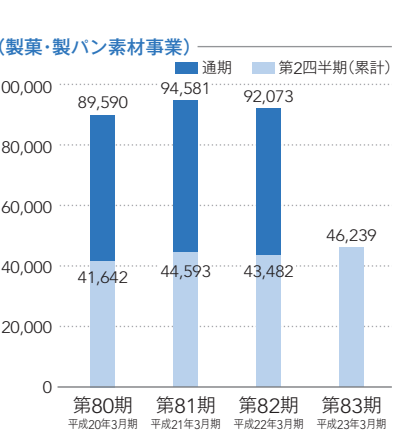
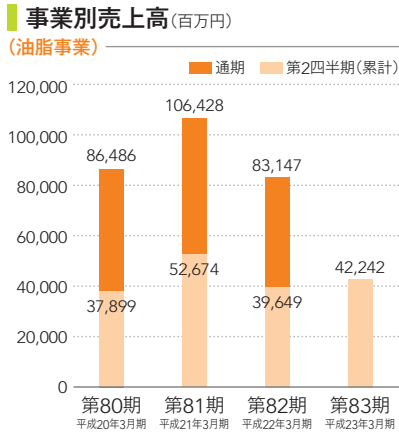
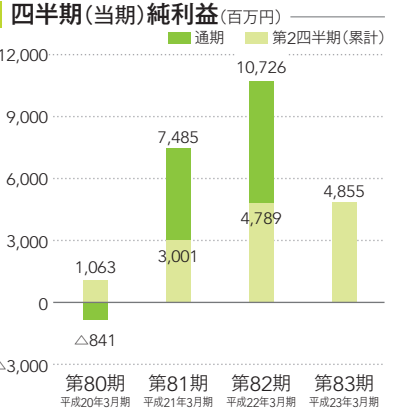
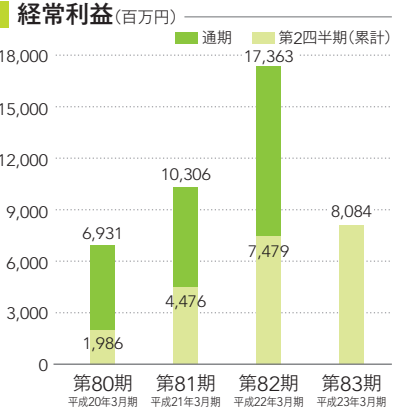
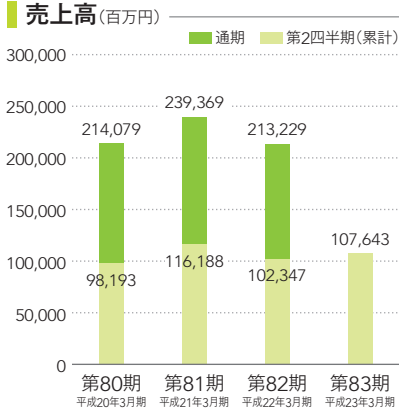
☐ 海外事業展開の加速

☐ 環境経営の推進

☐ 財務体制の質的強化

将来見通しに関する注意事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 平成22年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在
資産の部		
1 流動資産	85,364	81,307
固定資産	89,630	92,956
2 有形固定資産	78,168	80,196
無形固定資産	1,412	1,586
投資その他の資産	10,048	11,172
繰延資産	7	11
資産合計	175,002	174,275
負債の部		
3 流動負債	50,125	55,261
固定負債	24,112	20,345
負債合計	74,237	75,606
純資産の部		
4 株主資本	102,291	98,726
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	72,503	68,937
自己株式	△1,745	△1,744
評価・換算差額等	△6,621	△4,548
少数株主持分	5,095	4,491
純資産合計	100,764	98,668
負債純資産合計	175,002	174,275

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

流動資産

POINT 1 受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加等により、前期末と比べ40億円増加しました。

有形固定資産

POINT 2 資産効率を重視した投資の厳選（償却内投資）の継続により、前期末に比べ20億円減少しました。

有利子負債

POINT 3 平成22年7月23日に第4回無担保普通社債50億円を発行し、8月3日に第3回無担保普通社債100億円を償還しました。有利子負債残高は、「財務体質の強化」の取り組みの継続により、前期末に比べ5億円減少しました。

株主資本

POINT 4 過去最高となった四半期純利益（第2四半期累計期間）により、利益剰余金が前期末に比べ、35億円増加しました。

平成23年3月期の中間配当金

平成22年11月5日開催の取締役会において、次のとおり決議いたしました。

1株当たりの配当金 12円

配当総額 1,031百万円

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 平成22年4月 1 日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成21年4月 1 日から 平成21年9月30日まで
売上高	107,643	102,347
売上原価	84,900	80,549
売上総利益	22,743	21,798
販売費及び一般管理費	14,459	13,894
5 営業利益	8,283	7,904
営業外収益	320	241
営業外費用	519	666
5 経常利益	8,084	7,479
特別損失	675	239
税金等調整前四半期純利益	7,408	7,239
法人税、住民税及び事業税	2,155	2,071
法人税等調整額	89	130
法人税等合計	2,244	2,201
少数株主損益調整前四半期純利益	5,164	—
少数株主利益	309	248
5 四半期純利益	4,855	4,789

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

本報告書は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後に公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 平成22年4月 1 日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成21年4月 1 日から 平成21年9月30日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,706	8,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,188	△3,601
財務活動によるキャッシュ・フロー	△773	△4,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	△198	233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△455	279
現金及び現金同等物の期首残高	7,873	4,722
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	554	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,973	5,002

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業利益・経常利益・四半期純利益

POINT 5 営業利益、経常利益、四半期純利益（第2四半期累計期間）ともに過去最高を更新しました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

POINT 6 原料相場等の影響による売上債権やたな卸資産の増加等の運転資金の増加により、前年同期に比べ35億円減少しました。

TOPICS

油脂セミナーの開催

本年7月15日、油脂加工食品カンパニーは、お客様の製品開発・海外展開に役立てていただくために、「油脂の健康と機能」をテーマに油脂セミナーを開催いたしました。

安全・安心、健康、環境を切り口に、油脂の最新技術や環境にやさしいフライ油を紹介するとともに、ヨーロッパ・中国の技術・市場動向に関する講演を行いました。



油脂セミナーの様子

不二製油創立60周年記念式典を開催

不二製油は、本年10月9日(土)創立60周年を迎えました。10月8日(金)には本社で記念式典を開催、全国TV同時中継も行い、全従業員で祝福しました。

式典では、不二製油60年のあゆみ紹介、コーポレートメッセージの発表、記念論文の表彰・上位入賞者による論文要旨の発表などを行いました。

不二製油のこれまでの60年を振り返ると同時に、「人マネをしない」創業の精神を今一度見つめなおし、新たな出発点となる良い式典となりました。



記念式典開会の挨拶

海上交通の安全に貢献し、国土交通大臣表彰を受賞

不二製油は、阪南事業所沖合いにある浮き灯台の点灯を日々確認する業務を行っています。これは、阪南工場第一期操業の1969年4月に海上保安庁より依頼を受け、監視協力を始めたものです。以来、保安グループで40年以上引継ぎ、365日毎日1回確認しています。

灯火監視を行い、灯台の維持管理に努め、海上交通の安全確保に貢献したことが評価され、本年7月19日、最高位の国土交通大臣表彰である「海事関係功労者表彰」を受賞しました。



国土交通大臣表彰「海事関係功労者表彰」

CSR活動

不二製油グループは、コーポレートメッセージ「二つとない、をつくる。不二製油」をCSRビジョンに掲げました。ステークホルダーの皆様とともに発展し続ける企業であるために、わたしたちは「二つとない、」価値の提供に努めます。

CSRレポート 2010の発行

不二製油は本年初めてCSRレポートを発行いたしました。当社のCSRの考え方、活動をステークホルダーの皆様にご覧いただくことで、当社をより深く理解していただきたいと考えています。

「株主・投資家とともに」ページでは、皆様からの信頼に応えるために、「株主・投資家とのコミュニケーション」「株主への利益還元」として、適時・適切な情報開示やコミュニケーション向上への当社の取り組みを記載しています。

今後はCSR経営の推進(CSRレポートP19「CSR経営の推進」)を本格的に始動してまいります。

CSRの詳細情報は、ホームページ上でご覧いただけます。

<http://www.fujioil.co.jp/fujioil/approach/index.html>

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。



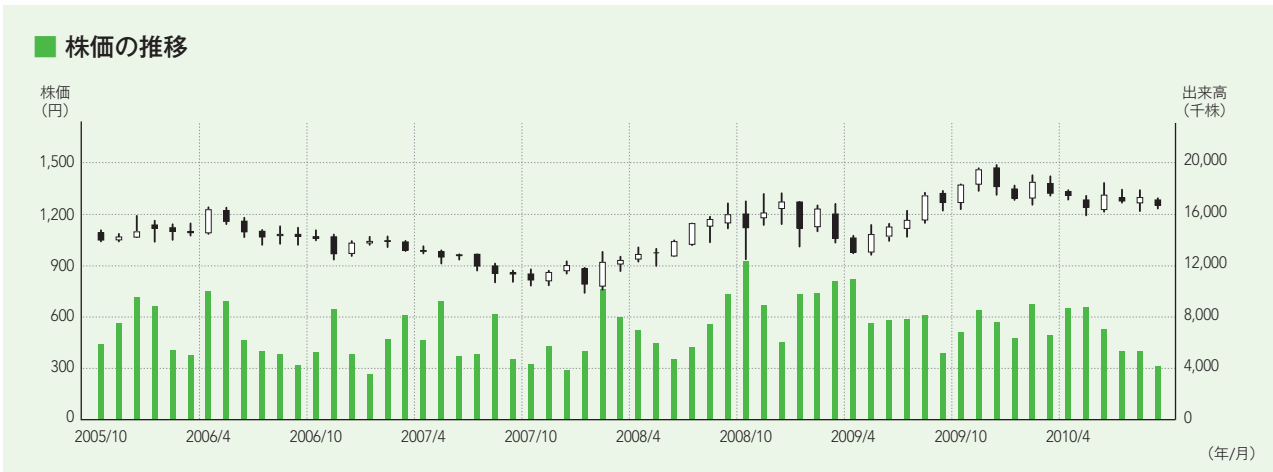
株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	357,324,000株
発行済株式の総数	87,569,383株
株主数	16,587名
1人当たり平均所有株式数	5,279株

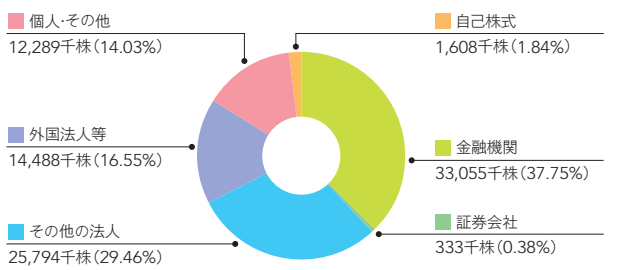
大株主 (平成22年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	17,609	20.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,654	6.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,913	5.72
野村信託銀行株式会社(信託口)	3,127	3.64
東京海上日動火災保険株式会社	2,828	3.29
日本生命保険相互会社	2,000	2.33
株式会社三井住友銀行	1,875	2.18
農林中央金庫	1,825	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・住友信託退給口	1,739	2.02
不二製油取引先持株会	1,606	1.87

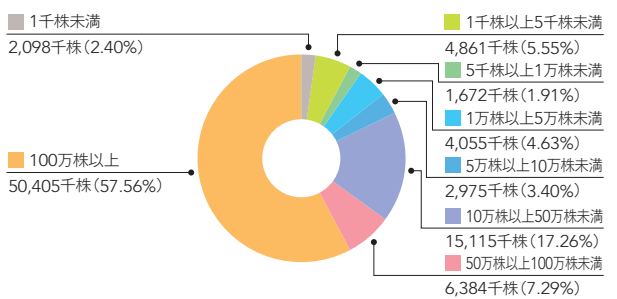
持株比率は自己株式(1,608千株)を控除して計算しております。



所有者別株式分布状況 (平成22年9月30日現在)



所有株数別株式分布状況 (平成22年9月30日現在)



会社概要 (平成22年9月30日現在)

創立	1950年(昭和25年)10月
資本金	13,208百万円
代表者名	代表取締役社長 海老原 善隆
全グループ従業員数	3,585名
不二製油従業員数	1,117名

連結上期業績概要 (平成22年9月30日現在)

連結売上高	107,643百万円
連結経常利益	8,084百万円
連結総資産	175,002百万円

役員 (平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	海老原 善隆
代表取締役副社長	河部 博国
専務取締役	片山 務
常務取締役	岡本 和三
常務取締役	山中 敏正
常務取締役	岩朝 央茂
常務取締役	高木 茂進
常務取締役	寺西 進
常務取締役	清水 洋史
取締役	中村 修
取締役	小林 誠一
取締役	前田 裕一
取締役	内山 哲也
取締役	西村 一郎
取締役	吉田 友行
取締役	佐藤 浩雄
常勤監査役	枅井 俊一
常勤監査役	黒岡 彰一
監査役	松本 耕一
監査役	松本 稔

主要海外グループ会社 (平成22年9月30日現在)

フジ オイル (シンガポール)
ウッドランド サニーフーズ
フジ サニーフーズ
パルマジュ エディブル オイル
フジ ベジタブル オイル
ソヤファーム USA
フジ オイル ヨーロッパ
ニューレイテ エディブル オイル
フレイアバディ インドタマ
フジ オイル (タイランド)
不二製油 (張家港) 有限公司
吉林不二蛋白有限公司
山東龍藤不二食品有限公司
上海旭洋綠色食品有限公司
深圳旭洋綠色食品有限公司
天津不二蛋白有限公司
不二富吉 (北京) 科技有限公司

主要国内グループ会社 (平成22年9月30日現在)

トーラク 株式会社
フジフレッシュフーズ 株式会社
ケイ・ビー食品 株式会社
ワルツファンシー 株式会社
不二バター 株式会社
株式会社 フクシヨク
今川 株式会社
株式会社 エフアンドエフ
株式会社 阪南タンクターミナル
千葉ベグオイルタンクターミナル 株式会社
ソヤファーム 株式会社

株式のご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月開催

基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
	そのほか必要があるときは、	
	あらかじめ公告して定めた日	

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場証券取引所 東京・大阪

証券コード 2607

株式に関する手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、 配当金の受領方法・振込先のご変更等
留意事項	未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関する ご照会につきましては、株主名簿管理人である住友 信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

特別口座に記録されている株主様

お手続き お問い合わせ先	住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈郵便物送付先〉	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
〈電話照会先〉	0120-176-417（平日9：00～17：00）
〈ホームページ〉	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
お手続き内容	特別口座から一般口座への振替請求、住所・氏名等 のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領 方法・振込先のご変更、未払配当金のお支払、郵送 物の発送と返戻に関するご照会等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却する には、証券会社に口座を開設したうえで株式の振替 手続きが必要となります。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されてい
なかった株主様のご所有株式は住友信託銀行株式会社に開設された口
座(特別口座)に記録されております。

特別口座の詳細につきましては、上記住友信託銀行株式会社 証券代行
部にお問い合わせください。

二つとない、をつくる。

 **不二製油**
<http://www.fujioil.co.jp>